

第 1 ワーキンググループ第 1 回会合で書面回答により確認すべきとされた事項

検討項目	書面回答により確認すべきとされた事項	担当府省
1. 国民経済計算の整備と一次統計等との連携強化 (基準年次推計に関する諸課題)	「V表、U表及びX表のあり方」の検討(詳細な供給・使用表とX表からなる体系への移行及び生産構造・中間投入構造の把握方法の検討を含む。)の中間整理の中で整理された「現状・課題と改善方策」のうち、「産業連関表の分類との整合性確保のための日本標準産業分類の見直し」に関する、今後の進め方や取組の方向性等について、具体的にご説明いただきたい。	総務省
2. 行政記録情報等の活用	<p>経済センサスー活動調査における個票審査の基準値としての、税務データのオーダーメイド集計による集計表の利用可能性を検証するための以下の検討について、どのような具体的検討が行われたのか、ご説明いただきたい。</p> <p>平成 21 年度から税務データのオーダーメイド集計による集計表と既存統計データの比較可能性について検討することとし、</p> <p>平成 21 年度から具体的なオーダーメイド集計の手法について検討を進めているところ。</p>	財務省、国税庁及び経済産業省